

8月2日 日向灘の地震

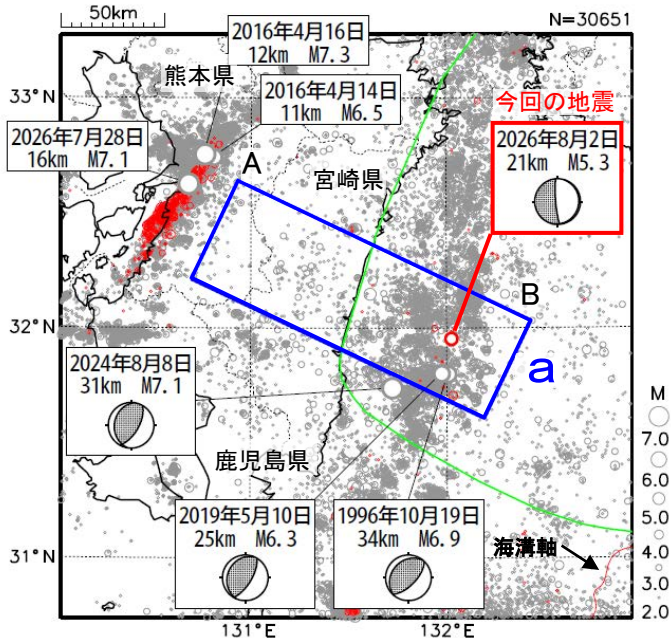
震央分布図

(1994年10月1日～2026年8月31日
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)

2026年8月の地震を赤色○で表示

図中の発震機構はCMT解

緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す

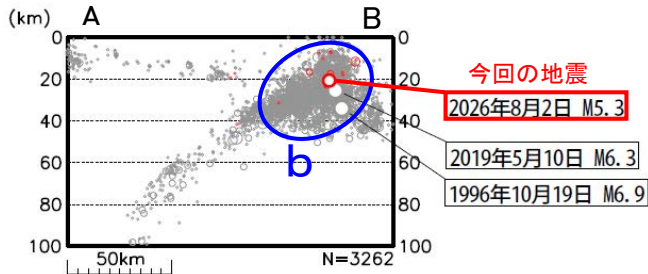


2026年8月2日04時10分に日向灘の深さ21kmでM5.3の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は東西方向に張力軸を持つ正断層型である。

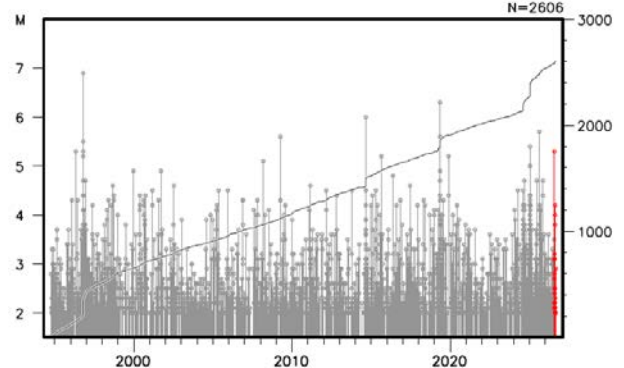
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）ではM6.0以上の地震が2回発生している。1996年10月19日に発生したM6.9の地震（最大震度5弱）では、高知県の室戸市室戸岬、土佐清水で14cm（平均潮位からの最大の高さ）の津波を観測するなど、四国及び九州の太平洋沿岸で津波を観測した。また、今回の地震の震央の南西約35km付近で、2024年8月8日にM7.1の地震（最大震度6弱）が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0以上の地震が時々発生している。また、1968年4月1日に発生した「1968年日向灘地震」（M7.5、最大震度5）では、負傷者57人、住家被害7,423棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。この地震により、大分県の蒲江漁港で240cm（全振幅）の津波を観測するなど、太平洋沿岸を中心に関東地方から九州地方にかけて津波を観測した（「日本被害津波総覧」による）。

領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM－T図及び回数積算図

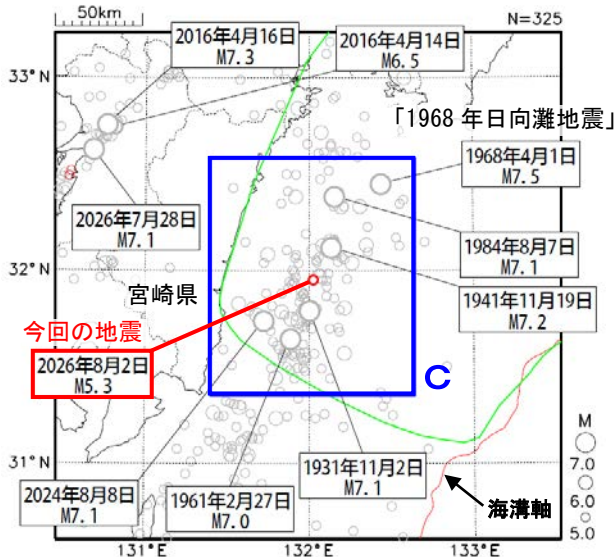


震央分布図

(1919年1月1日～2026年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2026年8月の地震を赤色で表示

緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す



領域c内のM－T図

